

Q
18

キッチン高さに合わせる調整方法は？

A

タイプごとに収納キャビネット、または台枠の調整脚で高さを調整してください。

ミドル／ワイドタイプの場合（専用収納キャビネット N-PC450S/K、N-PC600S/Kで調整）

【キッチン高さ800 mmの場合】

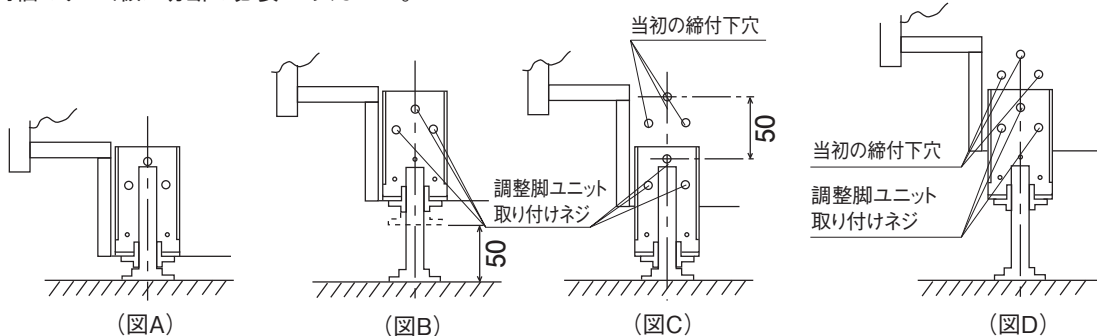
- 開梱状態で、必要に応じて調整脚の微調整のみ実施。(図A)

【キッチン高さ850 mmの場合】

- ①開梱状態から、調整脚4ヶ所を電動ドライバー等で左に回して50 mm出す。(図B)
 - ②開梱状態から、調整脚ユニットを取り出し(タッピングネジ4ヶ所)あらかじめ50 mm下方にあけられている下穴に取り付ける。(図C)
- 上記いずれかの方法を選んで調整。

【キッチン高さ900 mmの場合】

- 上記、高さ850 mmの調整方法 ①と②を両方実施(図D)
- 同梱のケコミ板は切断の必要がありません。



ディープタイプの場合（台枠で調整）

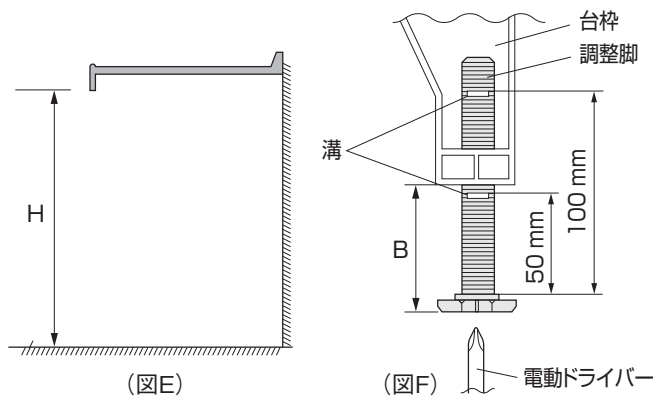
【キッチン高さ800 mmの場合】

- 開梱状態で、必要に応じて調整脚の微調整のみ実施。

【キッチン高さ850～900 mmの場合】

- ①キッチンカウンターの下面から設置床面までの高さHを計測する。(図E)
- ②台枠の調整脚(4ヶ所)の出代B寸法を、次の式から求め、電動ドライバー等で調整脚の出代を調整する。(図F)
 (調整脚には出代50 mmと100 mmの位置に溝があります)

●出代寸法(B)=H-742
 (NP-45MC6Tのみ「H-747」で計算)



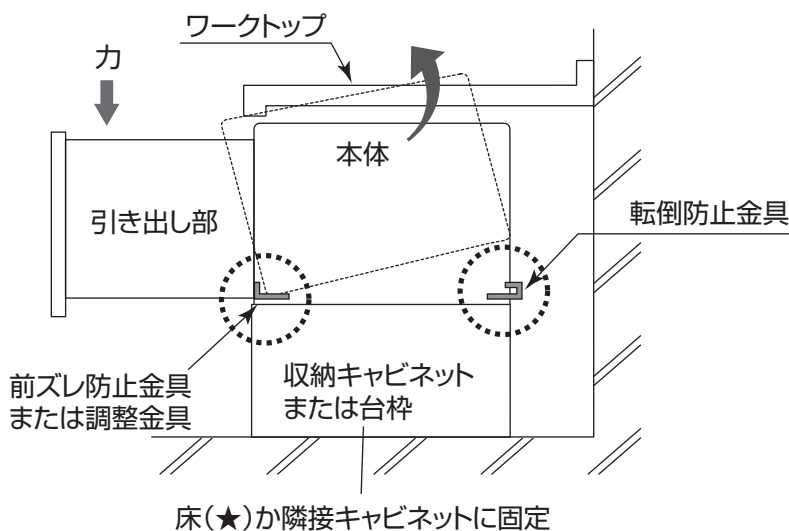
Q
19

手前にずれたり、引き出すと大きく傾いたりするのですが？

A 「転倒防止金具」や「前ズレ防止金具」または、「調整金具」が、正しく取り付けられていない可能性があります。取付設置説明書に従って必ず取り付けてください。

- 上記の金具が正しく取り付けられていないと、食洗機のドアを開閉した際、下図のように食洗機が前へ転倒する恐れがあります。このときワークトップを押上げる力が発生しますので、これを防止し天板を保護するため、本体同梱の固定金具は必ず取り付けてください。
- 引き出した際に本体が飛び出さないようにするための「前ズレ防止金具」または、「調整金具」も同梱されています。取付設置説明書に従って必ず取り付けてください。

【お客様へ】食洗機が手前にずれたり、引き出すと大きく傾くなどの場合は、施工不良が原因と考えられます。直ちにご使用をやめてお買い上げの販売店にご相談ください。



《機種別 固定金具(同梱)》

| | 機種 | 転倒防止用 | 前ズレ防止用 |
|------------|--|-----------------------|--|
| ミドル／ワイドタイプ | NP-45KS9W NP-45MS9W／MS9S NP-45VS9S NP-45RS9S／RS9K | 転倒防止金具 | 調整金具 固定金具 ※左の固定金具にはラインが入っています。 |
| | NP-60MS8W／MS8S | (★：専用収納キャビネットに同梱) | 前ズレ防止金具(1個) |
| デーパータイプ | NP-45KD9WP NP-45KD9A／KD9W NP-45MD9WP／MD9SP NP-45MD9W／MD9S NP-45VD9S NP-45RD9S／RD9K NP-45MC6T | ← 本体用 調整脚固定用 → | 前ズレ防止金具(1個) |

※システムキッチンメーカーの下部収納キャビネットの場合は、キャビネット側に固定金具が同梱されています。

次ページに続く→

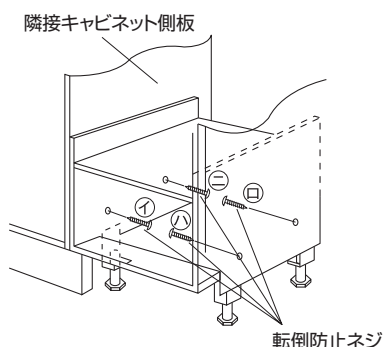
転倒防止金具の取付方法

●必ず「取付設置説明書」に従って施工してください。

ミドルタイプ/ワイドタイプの場合

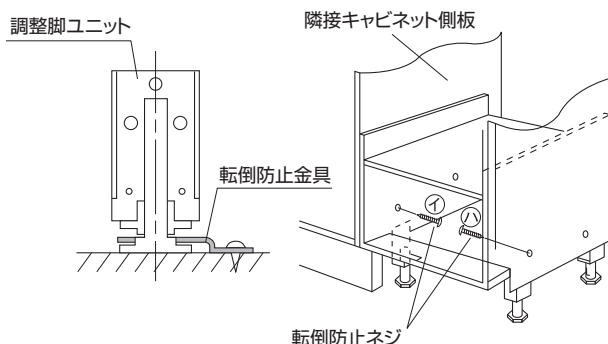
収納キャビネットの転倒防止

隣接キャビネットの側板がパーティクルボードの場合



転倒防止ネジ4本を使用して、
 ①、②、③、④の順で固定。

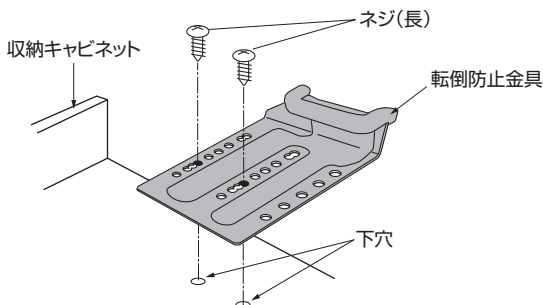
隣接キャビネットの側板がフラッシュ(中空)構成の場合



後部2ヵ所の調整脚ユニットに転倒防止金具と
 下部の下地のある位置に①および②転倒防止
 ネジで固定。

本体の転倒防止

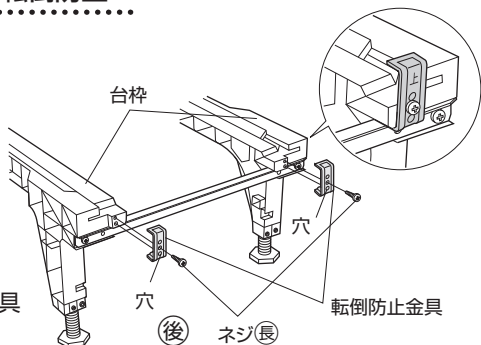
同梱の型紙に合わせて、下部収納キャビネットにネジ(長)2本で取り付ける。



ディープタイプの場合

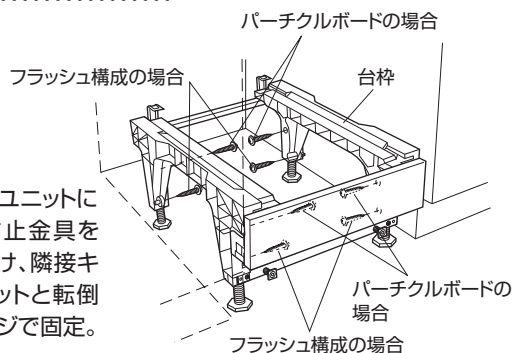
本体の転倒防止

台枠背面に
 転倒防止金具
 を使用。



台枠の転倒防止

調整脚ユニットに
 転倒防止金具を
 取り付け、隣接キャ
 ビネットと転倒防
 止ネジで固定。



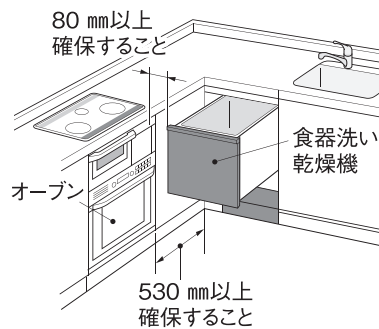
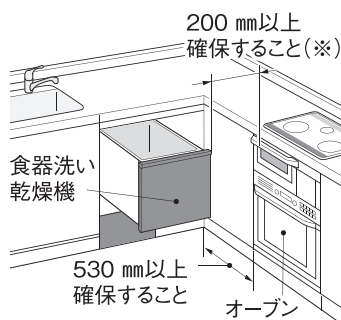
Q
20

L型コーナーにも設置できますか？

A コーナー部に設置される場合は、近接する機器(特に加熱機器)と接触しないように、食洗機のドアの開閉スペースを確保してください。

- 9Plusシリーズの場合、洗剤タンクの取り出し・取り付けができるよう、食洗機の右側とキッチンのスペースを確保してください。

◎9 Plusシリーズの場合



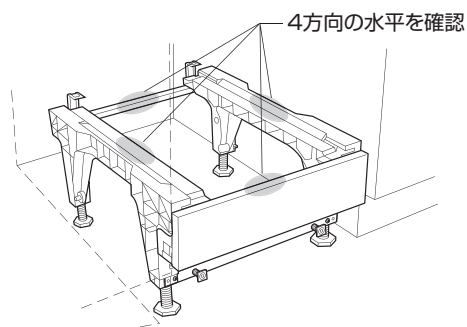
※9Plusシリーズの場合、200 mmは洗剤タンクの取り出し・取り付けのできる最小のスペースであり、余裕をもって行うには250 mm以上のスペースを推奨します。

Q
21

ディープタイプの点検口がうまく取り付けられないのですが？

A 台枠(床面)の水平が出ていないのが原因と考えられます。

- 一旦食洗機本体を取り出し、水準器で台枠の4方向で水平を確認してください。すべての方向で水平になるよう台枠を再調整してください。また、食洗機本体を奥までしっかり押し込み、前ズレ防止金具がスムーズに取り付けられることも合わせて確認、調整してください。



Q
22

ドア面材取付け時のポイントは？

A

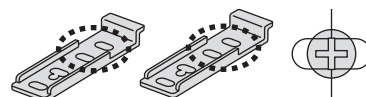
金具の取付け時や面材の装着時に、留意すべきポイントがあります。以下を参照の上ご対応ください。(M9シリーズの場合)

POINT① ドア面材取付け金具A・B

- 金具Aは左右共通の形状ですが、金具Bは左右で形状が異なります。L、Rの刻印がありその下の矢印が内向きになるように取り付けてください。
- 金具Aは2か所の長穴の中心で固定させます。締め付け時に金具がズレると、面材がうまく取り付けられませんので締め込むときは金具がズレないように注意してください。
- 面材の厚みによって、同梱のフラットスペーサーを装着する必要があります。「フラットスペーサー」の説明はこちらをクリック。

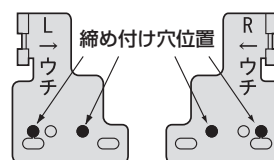
●面材取り付け金具A

- ・2か所の長穴の中心で締め付ける。



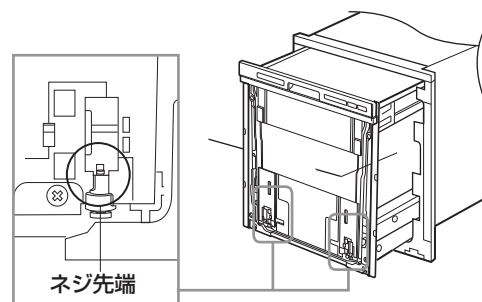
●面材取り付け金具B

- ・刻印の矢印を内側に向ける。
- ・図の2か所の穴で締め付ける。



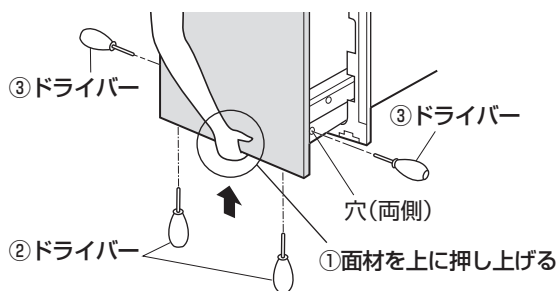
POINT② 高さ調整ネジの状態確認

- 本体下部2か所の、ドア面材高さ調整ネジの状態を、正面側から確認してください。
- 右図のように、調整ネジの先端が突き出ていないのが正しい状態です。ネジの先端が突き出ていると、面材取り付け金具Bがはまらなくなったり、はまりにくくなります。
- 調整ネジが明らかに突き出ている場合は、ドライバーでネジを調整してください。



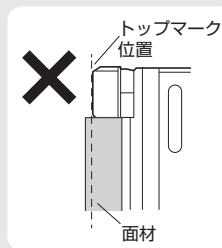
POINT③ ドア面材装着の手順

- ドア面材の上部(金具A側)、下側(金具B)の順に本体にはめ込みます。
- 右図のように、ドアを少し引き出して面材を下から押し上げた状態で、まず左右の高さ調整ネジを締め付けてください。
- 面材が下がらないことを確認した上で、左右の穴にあるネジを締め付けてください。(締め付けトルク:2.0~2.5 N・m) 締め付け方がゆるいと、面材が下がることがあります。



※ドア面材装着後、トップマークの位置とそろっていることを確認します。右図のように出ている場合や、面材が下がり過ぎている場合は同梱の「フラットスペーサー」の仕様を確認の上、調整してください。

※NP-45KD9WP/45K9シリーズの場合、面材寸法・同梱部品・取り付け方法・高さ調整方法などが異なります。必ず同梱の「取付設置説明書」をご覧ください。



Q
23

キッチンと同じ色のドアパネル(ドア面材)をつけたいのですが？

A

通常、システムキッチンと合わせて食洗機をご購入いただく場合に限り、同じ色のドアパネル(ドア面材)を取り付けることが可能です。

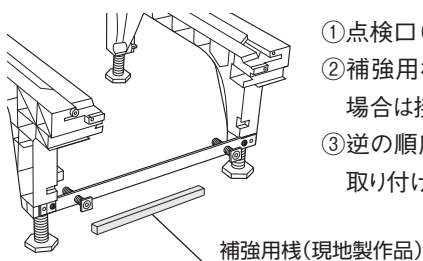
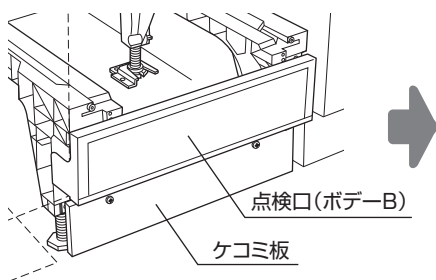
- ドアパネル(ドア面材)はシステムキッチンとのセット販売部材として、キッチンメーカー様のご手配となります。キッチンメーカー様以外(たとえばリフォーム会社様)からシステムキッチンをご購入される場合は、ドアパネル(ドア面材)が手配できないことがあります。必ずご購入の前にご販売店にご確認ください。
- 食洗機を単独でご購入いただく場合は、キッチンと同色のドアパネル(ドア面材)の取り付けは難しいとお考えください。但し買替えては、機種によって今お使いのドアパネル(ドア面材)が流用できる場合があります。詳細は「[買替え対応機種検索システム](#)」でご確認ください。

Q
24

ケコミ板が内側に反ってしまいます。原因と対応方法は？

A

ケコミ板はその性質上、軽量で加工しやすい樹脂(PP)でできています。そのため建築物との取り合いや応力変化などが原因で、反りが出ることがあります。その場合、市販材で補強用棧を現地で製作し、以下の手順に沿って設置工事をお願いします。



- ①点検口(ボデーB)とケコミ板を外す。
- ②補強用棧を床に固定する。(コンクリートの場合は接着剤等で)
- ③逆の順序でケコミ板と点検口(ボデーB)を取り付ける。